

一級建築士の免許登録申請 実務経歴証明書チェックシート

(行政法人・独立行政法人による証明の場合)

以下の内容を確認し、記入要領等も参照の上で**本紙をチェックして申請書類と併せて提出してください。**

なお、審査において、チェック内容に該当しない実務経歴証明書の記載や、チェック項目以外の内容に関して記載不備があった場合は再提出をお願いすることがあります。再提出となった場合、**免許証明書の交付に通常（3カ月程度）よりも更にお時間を要する場合があります**のでご注意ください。

合格番号： _____

氏 名： _____

以下は、これまでの申請実績をもとに、特に不備が多い内容についてチェック項目として整理したものです。 _____

No.	チェック項目	チェック欄 (該当ない場合は「-」を記載)	参照先
例	● 行政・独立行政法人による証明か？	✓ (手書き可)	—
1	● 証明者は、実務を行った部署の所属長である。 所属長とは、 本庁の場合は部署の部長又は課長（担当課長以下は不可）、出先機関の場合はその長 など、適切な権限を有している者です。		記入要領 ②証明者
2	● 電話番号欄に担当者名として、実務経験の内容を具体的に把握している上司等の氏名、所属部署、電話番号を記載した。 証明者が申請者の実務内容を具体的に把握している場合は、担当者を証明者としても可です。その場合は、当該欄に「 担当者は証明者と同じ 」と記載してください。		記入要領 ④電話番号
3	● 「建築実務の内容」について、実務経歴書に記載した実務の内容をそれぞれ箇条書きで記載した（ 複数の実務を一文にまとめて記載することは不可です ）。 記載欄が足りない場合は書式を複写して使用してください。		記入要領 ⑧建築実務の内容
4	【過去に所属していた（現在とは異なる）部署の実務を申請する方】 ● 証明者は、過去に所属していた部署における証明日現在の長である（ 当時の所属長は不可 ）。		—

※実務経歴証明書の記入要領は、(公社)日本建築士会連合会 建築士登録部のホームページに掲載しています。